

瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックへの小型揚陸艇部隊の新編に関する 横浜市からの要請に対する国の回答について

本日、防衛省から、1月20日（金）に提出した瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックへの小型揚陸艇部隊の新編に関する要請に対して回答がありました。

1 回答内容（別添回答書のとおり）

「瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックへの小型揚陸艇部隊の新編に関する要請について（回答）」

2 回答書の受領

（1）日付・場所

令和5年3月3日（金）
市庁舎 市長応接室

（2）面会者

やまの	とおる	
山野	徹	防衛省南関東防衛局長
やまなか	たけはる	
山中	竹春	横浜市長

お問合せ先

政策局基地対策課長 白井 伸博 Tel 045-671-2057

防防日（防）第90号
令和5年3月3日

神奈川県横浜市長
山中 竹春 殿

防衛大臣 浜田 靖一
（公印省略）

瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックへの小型揚陸艇部隊の新編について
（回答）

標記について、別紙のとおり回答します。

添付書類：別紙

1 配備までのスケジュールとともに、部隊の新編の詳細について具体的な情報を、適時適切に提供すること。

- 1 横浜ノース・ドックにおける小型揚陸艇部隊の新編について、米側からは、
- ・ この地域における災害発生時を含む緊急事態における海上機動力を強化するため、横浜ノース・ドックに配置されている船舶を迅速に運用できるようにする必要がある
 - ・ 部隊の活動内容は人員・物資の輸送であり、新編前から変更はない
 - ・ 部隊に編入される船舶13隻は、横浜ノース・ドックに既に配置されている船舶から編入される予定であり、新編に伴う船舶の増加はない
 - ・ これまで随時派遣であった船舶運用のための要員を常時配置（約280名）する
 - ・ 新たに配置される要員は、日本国外の様々な場所から集められ、家族帯同で主に横須賀海軍施設、キャンプ座間等の既存の神奈川県内の米軍施設等への居住を予定している
 - ・ 新編に伴い、今後、既存施設の改修を行うことは想定され得るが、施設を新たに建設する予定はない
- との説明を受けております。
- 2 また、部隊の新編は令和5年春頃に予定しているとの説明を米側から受けておりますが、引き続き関連情報の提供が米側からあり次第、適切にお知らせいたします。

2 特に、部隊の新編により基地の機能はどのように変わるのか説明を行うこと。

1 今般の新編は、厳しさを増す安全保障環境に対応するため、船舶の運航要員を常時配置することにより、海上機動力を強化するものであり、船舶の入出港回数が一定程度増加するものと予想されますが、人員・物資の輸送という任務や船舶数の面では、これまでと変更はありません。

3 市民生活の安全・安心に影響を及ぼすことがないように万全の対策を講じること。

1 米軍の運用に当たっては、公共の安全に妥当な配慮を払うのは当然のことであり、米側に対し、安全に十分配慮しつつ、周辺地域への影響を最小限に留めるよう求めてまいります。